

住民説明会（第1回）の概要等について

< 習志野演習場関連 第2号（平成17年5月27日） >

発行・編集：環境省環境リスク評価室、防衛庁長官官房施設課、千葉県環境政策課、
八千代市環境保全課、習志野市環境保全センター、船橋市環境保全課

環境省では、八千代市の協力を得ながら、本年4月27日（水）から習志野演習場周辺の市営水道水源井戸（7箇所）及び小学校の防災用井戸（3箇所）について地下水調査を行いました。

その結果、全ての検体について、毒ガス関連物質は検出されませんでした。

引き続き、専門家の御意見を踏まえながら、演習場近傍における飲用井戸を選定し、5月下旬から地下水調査（20箇所程度）を行う予定です（次頁裏面）。

また、防衛庁では、6月上旬から演習場内の地下水調査（3箇所程度）を行い、その後、演習場内調査地域の物理探査等を行う予定です。

また、5月17日（火）18：30～八千代市立南高津小学校体育館において、習志野の事案（習志野演習場）における旧軍毒ガス弾等の環境調査についての住民説明会を開催しましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 開催日時 : 平成17年5月17日(火) 18:30～
2. 開催場所 : 八千代市立南高津小学校体育館
3. 出席者 : 環境省、防衛庁、千葉県、八千代市、習志野市、船橋市
4. 参加者 : 八千代市民、習志野市民、船橋市民等 290名
5. 説明会概要

説明会では、習志野の事案(習志野演習場)で調査を行うこととなった経緯と、環境省及び防衛庁が行う環境調査について説明しました(当日配布した資料は八千代市のホームページ等に掲載しています。)。その後、主に次のような質疑応答がありました。

問：地下水の流れは層によって違うのではないか。

答：水道水源の井戸と民有地の井戸は深さが異なるので、両方を調査することにより、層の違いをカバーできると考えている(環境省)。

問：地下水調査は今後も継続するのか。また、継続するとしたらどれくらいの頻度か。

答：今後、環境省の専門家による検討会で検討していきたい(環境省)。

問：地下水は戦後から今までで500m程移動しているとのことだが、縦(垂直方向)への移動速度はどの程度なのか。

答：基本的に地下水は垂直方向へは移動しないが、あらゆる可能性を排除せず安全性を確認するために調査を行ってまいりたい(環境省)。

問：先行しておこなった水道水源井戸等の地下水調査において、毒ガス関連物質は全く検出されなかったのか、それとも基準値以下なのか。

答：毒ガス関連物質は、全く検出されていない(環境省)。

問：水道水源の地下水調査は実施したようだが、私有地は全数調査を実施して欲しい。

答：環境省が私有地で調査する井戸については専門家の意見を踏まえながら選定していくので、御協力頂きたい(環境省)。

問：自衛隊の演習場から高津団地側へ暗渠になって水が流れている。

答：場所等の確認をおこない、専門家の意見を踏まえながら、調査について検討していきたい(環境省)。

問：防災用井戸を持っている人には今日の説明会の連絡がなかった。飲用、防災用分けずに連絡が欲しい。防災用井戸水の検査を年に1回にして欲しい。

答：防災用井戸水の検査については、今後検討していきたい(八千代市)。

問：水道水源井戸は、八千代市全体で使っているのか、それとも周辺住民だけなのか。市全体として使っているのなら、市全体に説明するべきではないか。

答：調査の対象となった水道水源井戸については、周辺住民のみが使っている。なお、テレビ報道があった直後に、演習場に一番近い水道水源井戸については運転を中止している(八千代市)。

問：井戸水を市にもっていけば分析してくれるのか。

答：毒ガス関連物質の検査は特殊なので、今後検討したい(八千代市)。

問：毒ガスがドラム缶に入れた状態で埋められたとしたら、いつドラム缶から漏れ出てくるのか分からない。地下水調査結果だけでは安心できない。

答：演習場内の調査区域において、ドラム缶などの地下の埋設物を確認することを目的とした物理探査等を行い、専門家の御意見を踏まえながら、反応物の掘削等の調査を実施していきたい(防衛庁)。

問：埋設された毒ガスによる空気曝露はあるのか。また、掘削する場合、外に漏れ出るのではないか。

答：基本的には大気経路の曝露はないと考えている。演習場内において、地下の埋設物を確認することを目的とした物理探査等を行い、反応物を掘削する場合には、平塚や神栖の例を踏襲して、二重テントなどを設け毒ガス成分が外に出ないように措置をとることになると考えられる(環境省)。

問：毒ガス成分の毒性について、人体にどのような影響があるのか。

答：毒ガス成分の毒性に関する既存の情報等を調査し、必要に応じ次回の説明会以降説明したい(環境省)。

問：習志野学校にて、旧軍が製造したのは毒ガスだけなのか。細菌兵器などはないのか。

答：現在までに集まっている情報では、細菌兵器などを製造したという記録は見つかっていない(環境省)。

問：市役所の対応を明確にし、積極的に対応して欲しい。

答：八千代市としては、環境省や防衛庁からの情報提供を受け、関連部局による会議を行い、市民の安全確保を万全にするよう話し合いがなされている(八千代市)。

問：説明会資料は事前に欲しい。また、説明会の結果についての報告が欲しい。

答：説明会資料については、できるだけ説明会の案内に併せて配布できるようにしたい。結果については、住民広報紙やHPなどで周知していきたいと考えている。

問：できるだけ分かりやすく、具体的に資料を提供して欲しい。

答：次回以降、御指摘の点を反映して資料を作成していきたい。

問：今後も調査結果を定期的に報告してほしい。

答：住民説明会や広報紙を活用してお知らせしていきたい。

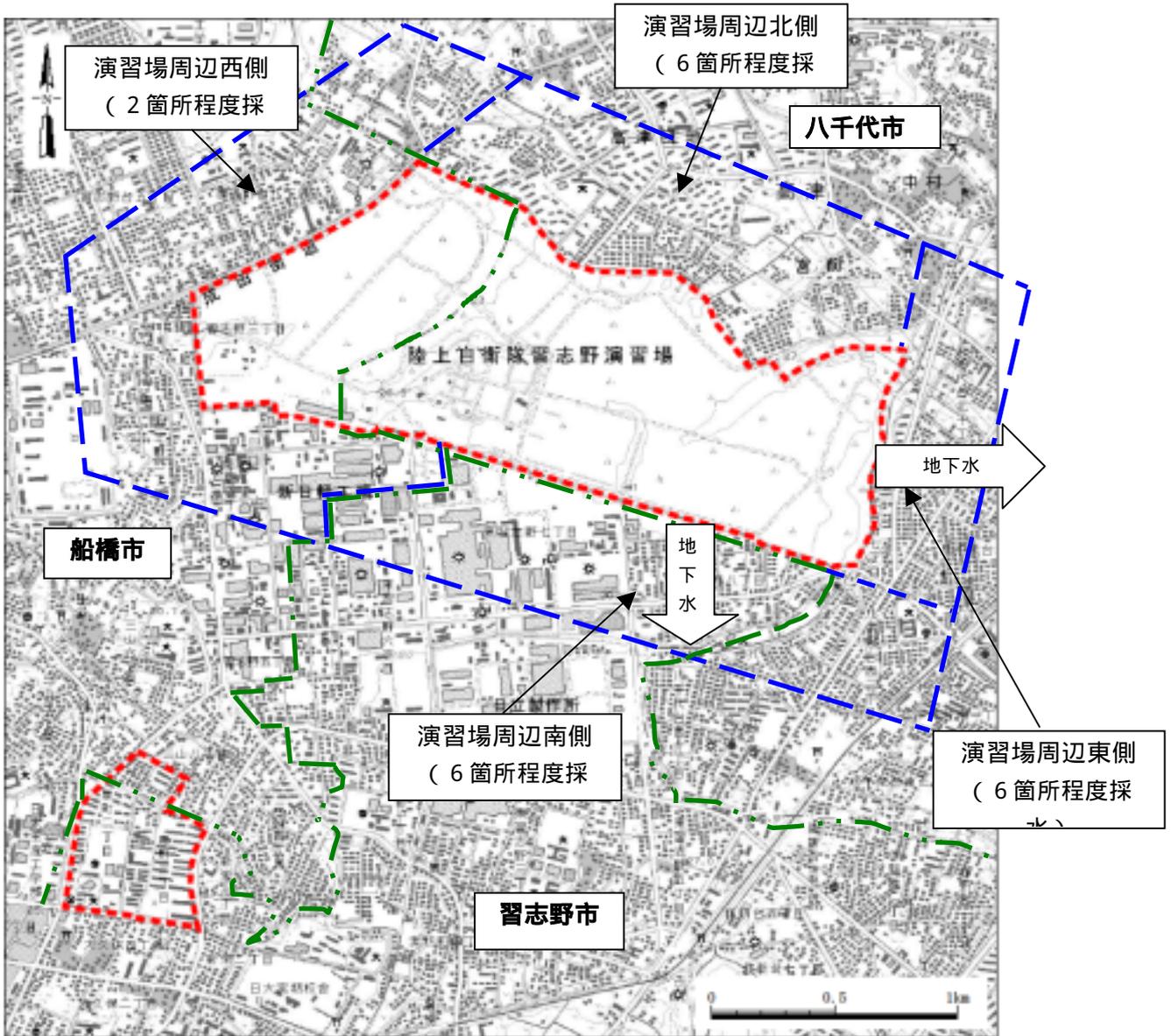


写真 説明会の様子

ご質問・ご相談は、下記窓口にご連絡ください

環境省環境保健部環境リスク評価室	03 - 3581 - 3351
防衛庁長官官房施設課	03 - 3268 - 3111
千葉県環境生活部環境政策課	043 - 223 - 4649
八千代市経済環境部環境保全課	047 - 483 - 1151
習志野市環境部環境保全センター	047 - 451 - 1400
船橋市環境部環境保全課	047 - 436 - 2455

民有地の飲用井戸における今後の調査について



- : 小学校の井戸 (3 箇所 / 採水済み)
- : 市営水道水源井戸 (7 箇所 / 採水済み)
- : 演習場内の使用されていない井戸 (3 箇所)
- : 陸上自衛隊習志野演習場周辺約 5 0 0 m の境界線
- : 市境界線